

僕は小学校のときの友達と淀川であった花火大会に行きました。中学校から別々になった友達もいたので話したいこともたくさんあり、とても盛り上がりました。そしてついつい遅い時間の帰宅になってしまいました。夜暗い道を歩いているといくら友達がいるからと言っても、「怖い人にあったらどうしよう」と、ドキドキしました。そのときはなにもおこらなくてよかったのですが、危ない目にあっていたらどうなっていたことかと思いました。家に帰るとお母さんに、「危ないめにあったらどうするの!」と、言われました。

最近では中学生や高校生が薬物や闇バイトなどを行っているというのをニュースなどでよく耳にします。SNSなどからそれを始めることもあるかと思いますが、僕達と同じように夜遅くまで遊んでいたりすることで、大人から薬物などをすすめられて断れずに始めてしまうというのも大きい理由なのではないかとお母さんの話から考えました。僕ならもしかすると、友達もやっていて勧められたら、「自分もやらなきゃ」という気持ちになるかもしれません。

友達と一緒に過ごすことは楽しいです。しかし友達と一緒に悪いことをするのは楽しくないと思います。僕はお互いに注意しあって一緒に楽しめるのが本当の友達だと思います。お互いに注意しあって、悪いことは悪いと言い合えるような友達と何かを一緒にするのはとても楽しいと思います。

そこで僕は社会を明るくするには人と人との繋がりをさらに深くていいものにするのが大事だと思います。なぜなら人との繋がりが広がれば、いろんなことを言い合えて本当に楽しいと思うからです。もしだれかが悪いことをしてしまったとします。その人にはそれを本気になって注意してくれるような友達がいなかったら後戻りできなくなるかもしれません。

もし自分が一緒に悪いことをしようとして誘われたときには、いまのところ「やらない!」「しない!」と言えないかもしれません。しかし本音を言い合える友達がいれば、その子が悪いことをしようするときも、止めたり、一緒に悪いことをしようとして誘われたときは、「いやだ!」と、断れると思います。

これらのことは学校の中や友達関係だけでなく、地域にも言えることがあると思います。例えば僕が行っていた小学校には、見守り隊という登校するときや下校するときに見守ってくださる人たちがいました。その人達は僕達がなにか悪いことをしていたら注意してくれたりもしました。これらのように、地域でもお互いに注意をし合うことで、今よりもっと過ごしやすく犯罪の少ない、子どもたちがよりよく過ごせる社会になると思います。

そして、地域が良くなることで市が良くなり、市が良くなれば府や国が、国が良くなれば世界が良くなるというように、どんどんよりよい社会が広がっていくと思います。世界平和は遠いところにあるのではなく、実は足元にあるのかもしれない。

僕はまずお互いになんでも言い合えるような友達をたくさんつくって、より良い、過ごしやすいクラスを作るところから始めたいと思います。